

本年度の抱負と方針

ロータリー財団部門委員長
弓田勝俊（越生毛呂RC）

ロータリアンの使命は財団基金の理解から

3年ぶり地区財団に戻り部門委員長として、2008～2009 派遣国際親善奨学選考試験に参加し、4名の候補生を選出した。昨年度はわずか2名にまで減少してしまった奨学生を、いかに一人でも多くの学生を派遣出来るようにするかが、第一の課題だと思えます。

「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金をつくろう」を合言葉に、各クラブ会員一人ひとりが、国際的なロータリアンであることを自覚して戴き、良く理解し強力なご協力をお願いします。

財団寄付は各クラブで「地区補助金」として各地域の為に有効利用が出来ます。

まだ一度も利用していないクラブは、是非、利用してロータリー財団との係わりを持って頂きたい。

今年度は3年に1度のGSE派遣・受け入れが、2008年4月3日～30日アメリカケンタッキー州 第6710地区と行います。

各クラブ会長・クラブ委員長が年度当初、石川ガバナーとの約束で、今年度寄付金額を提示して有りますので、空手形にならないよう宜しくお願いします。

地区財団各委員会では、各クラブからの要請があれば敏速に対応し、お互い気分良く奉仕戴けるように努めて行きたいと思えます。

以上